

# 効果的な集落ぐるみ野生獣対策の実践 ～獣害アドバイザーの育成～

農業技術振興センター農業革新支援部

## 【普及活動のねらい】

本県では、市町と連携した集落ぐるみによる獣害対策の推進や侵入防止柵等の設置により、野生獣被害が年々減少傾向にあります。しかし、依然として対策を講じていない集落や、新たに被害が発生している集落も見受けられる等、被害金額はまだ高い水準にあります。

対策に取り組まない集落では、集落全体の意識が低かったり、具体策がわからない等の意見が見受けられます。

そこで、このような集落においても、県認定獣害対策アドバイザーを中心とした集落ぐるみ対策を進め被害軽減を図るため、新たな獣害対策アドバイザーの育成とその活動支援を行いました。

## 【普及活動の内容】

獣害対策アドバイザー育成講座の企画、受講生の募集に向けた関係機関への働きかけ等を行い、3回の講座を開催しました。各講座では、獣害対策アドバイザーに求められる資質や、支援活動の具体的な内容について説明を行いました。

また、各農業普及指導センターや市町と連携し、獣害対策アドバイザーが活動するモデル集落として12集落を選定しました。これらの集落で獣害対策アドバイザーが活動される時には、必要に応じて問題解決に向けた方策や、進め方等について支援を行いました。また、市町等を訪問し、アドバイザー制度の周知を図りました。



写真 アドバイザーとともに現地を巡回

## 【普及活動の成果】

今年度の育成講座により、新たに19名の獣害対策アドバイザーが認定されました。また、各地域の被害防止対策協議会等で獣害対策アドバイザーの役割が位置づけされ体制が整備されつつあります。

また、支援した12のモデル集落のうち9集落で、本年度から集落ぐるみ対策に取り組まれることになりました。残る3集落でも、次年度に集落ぐるみ対策を実践する予定です。

今後も、獣害対策アドバイザーが円滑に現場で活躍し、野生獣被害が削減していくよう、支援を進めていきます。

### ◎対象者の意見

集落で獣害対策を進めるにあたって、役員がどのように住民に対応していけばよいか経験に基づく具体的な事例を交えた助言は、大変参考になりました(被害集落S:湖北)